

『武西・谷田の自然環境保全の要望書提出に関する集まり』のメモ

2006.3.12. pm1:30~4:00

場所：印西市サザンプラザ

○出席者：北総生きもの研究会以外の方

氏名	所属	氏名	所属
鈴木さん	NPO法人ラーバン千葉ネットワーク	上西さん	NPO法人しろい環境塾
丹澤さん	同上	中條さん	ウエットランド
若倉さん	SEN（白井環境ネットワークの会）	竹淵さん	NPO法人せっけんの街印西
秋井さん	同上	小山さん	ゴミと暮らしを考える会(印西)
小野さん	印西サシバ調査グループ		

○北総生きもの研究会の出席者：齋藤さん、坪井さん、永瀬さん、岩本さん、相馬(唐)さん
米田さん、緒方さん、森田さん、堺さんご夫妻、新見さん
坂巻さん、長谷川先生、相馬(成)、相馬(な)

集まりの流れ

- ・ 長谷川先生から 今日の集まりについての主旨説明
- ・ 配布資料に目を通して頂き、『要望書』の文面について 各々修正を入れていただく。
- ・ 自己紹介
- ・ 『要望書』の文面についての意見交換

主な意見：

- ・ 主語と述語がかみ合わない箇所を簡潔に。
- ・ ‘新・生物多様性国家戦略’ ‘千葉県レッドデータブック’ 等のある種 業界的な固有名詞を使用することについて再検討。
- ・ ‘放棄水田’ ‘秘境’ 等の ニュータウン住民からの視点の言葉使いの点検。
- ・ 武西・谷田地区に限定するような内容ではなく、新しい住民、元から住んでいた住民の共生を謳うような普遍的な内容に変更。
- ・ 事実関係の誤りの訂正。
- ・ 提出方法を県と市に分けるか、提出するルート、根回しの検討。

など・・・

——— 意見を踏まえ、『要望書』提出は3月末の予定。

・ この集まりの今後の方向性について 《やわらかいネットワークづくり》
<中身について>

- ① まず『要望書』を出す
- ② 市民の合意を得ていくための作業

観察会などによる広報活動

集会を開き、主旨を共有し、スタートをきる。

③『呼びかけ文』の作成

④ 市民からの要望を再度 提案。

<組織について>

顧問：堀田先生

代表：ケビンさん

長谷川先生

集会への準備委員会：本日集って頂いた団体の代表者

準備委員会にて中心的な提案、スケジュールを相談していく。

※ ————— 以上が、だいたいの流れです。

間違い等あるとは思いますが、詳しくは参加者にお聞き下さい。

また、武西・谷田地区をご存じない方で観察を希望される方のために、北総生きもの研究会の3月18日の観察会に 参加していただくことになりました。

詳しくは、森田さんからメール等でご連絡が行っていると思います。

記録：相馬なおみ